

平成30年度 北海道・ハワイ州

# 高校生交換留学促進事業報告書

Hokkaido/Hawaii High School Student Exchange Program  
2018-2019

新 し い  
自  分  
始 ま る

令和元年5月

北海道教育庁学校教育局高校教育課

Hokkaido Office of Education High School Education Division

はじめに

本事業は平成29年に北海道とハワイ州が姉妹提携を結んだことをきっかけに、平成30年度から始まり、3校4名の高校生が1週間ハワイ州へ留学しました。関係者の皆様方の協力により、意義のある交流となったことに心から感謝を申し上げます。

さて、本道を訪れる外国人が279万人を突破し、社会のグローバル化が急速に進む中、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、これまで以上に外国人と身近に接する機会が増えていくことが予想されます。

こうした中、今回4名の留学生が期待と不安を胸に抱きながらハワイへと旅立ち、様々な人々との出会いや現地の文化に触れることを通して、文化の違いや日本の良さを発見するなど、かけがえのない経験をすることができました。慣れない環境の中、英語でのコミュニケーションの場面では、意思の疎通がうまくできず、苦い経験をしたことも少なからずあったようですが、そのような苦難を自分の力で乗り越えたことにより、「新しい自分」を発見することができたものと考えております。

現在、我が国においてもグローバル化が進行し、日本企業の海外進出あるいは外国企業の日本進出により、就職後も様々な場面で外国人と交流する機会が増えています。そのような中、留学を通じて異なる習慣・価値観を持つ外国人とのコミュニケーションを学んだことは、貴重な経験であったと思います。ぜひ、4名の留学生がこの事業を契機に国内外で活躍し、本道のみならず日本を発信する担い手になることを期待しております。

最後になりますが、短い準備期間にも関わらず快く生徒を送り出して下さった保護者の皆様、業務多忙な中で御尽力いただいた高等学校の教職員の皆様に心から感謝を申し上げます。今後も本事業が、本道とハワイ州との友好親善に寄与するとともに、本道の高校生に夢と希望を与える機会であり続けるよう努めてまいります。

令和元年5月

北海道教育庁学校教育局

高校教育課企画・支援担当課長 唐川 智幸

## ■留学生一覧

	学 校 名	学校所在地	学年	性別
1	北海道札幌国際情報高等学校	札幌市	1	女
2	北海道札幌国際情報高等学校	札幌市	1	男
3	北海道登別明日中等教育学校	登別市	1	女
4	北海道旭川永嶺高等学校	旭川市	2	女

## ■事業実施日程

実 施 内 容	月 日
出発式 (新千歳空港 セタナリア)	平成31年3月24日(日)
↓ 本道留学生出発	3月24日(日)
学校訪問・ホームステイ	3月24日(日)～30日(土)
↓ 本道留学生帰国	3月31日(日)

# 1 生徒編

## ハワイ州交換留学事業 事後報告書

北海道札幌国際情報高等学校 1年

### 【1週間のスケジュール】

#### ～1日目～

新千歳空港➡ダニエル・k・イノウエ空港

飛行時間が約7時間と長いので機内食が2回出た。夕食にはほっかほかのロコモコ、朝食にヨーグルト、パン、ゼリー、穀物クッキー、カットりんごが出た。機内食で出された果物もハワイに入国する際は、持ち込み禁止なので注意すべき！入国審査では、日本語も選択できる機械が置いてあるので英語が苦手な人でもスムーズに手続きできる。

#### ～2日目～

学校登校初日。7時半までに登校、8時から授業開始と日本に比べてかなり早かった。学校に着いたら\*バディーの生徒達が\*レイを持って私達を迎え入れてくれた。会って間もなく、バディーの引率で事務室に行った。そこでは、ランチを食べる時に欠かせない学生証を作った。学生証用の顔写真を撮ったのだが、普段自撮りをしない私にとってとても厳しい状況だった。これは帰国してから思ったことだが、ハワイでは顔写真をたくさん撮る。出来れば出国する前に写真用の笑顔の練習をしておく事をおすすめする。

\*バディー：日本人生徒に対して、様々な面で手助けをしてくれる現地校の生徒を指す。

(今回の場合は、日本人生徒：バディー＝1：1)

\*レイ：客人への歓迎の意味と送迎の意味を込めたお花で作られたネックレスを指す。

#### ～3日目～

祝日のため学校なし。一日中ホストファミリーと過ごした。私のホストファミリーは年に10回(短期から長期まで多様な)留学生の受け入れをしている家庭だったので彼らが完璧なプランを立ててくれていたが、全ホストファミリーがそうとは限らない。自分の行きたい場所や食べたいもの2,3個は考えておくと良いだろう。実際、ハワイやハワイアンフードを沢山知っていれば話も弾むし喜ばれる。学校のありなしに関わらず、決して受け身にならず何事にも常に自分から積極的に行動すれば1週間をより有意義に過ごせるだろう。

#### ～4日目～

この日、一番最初に受けた授業は、自分担当のバディーが受ける授業であるアメリカの歴史(冷戦)だった。習っている内容が日本とはかなり異なるため、授業を理解する事が困難だった。その後は、2・4つ目のクラス：日本語のクラス。3つ目のクラス：ヒップホップダンス。学校自体は2時39分に終了し、放課後に野球部の試合を見た。(3時～5時)

#### ～5日目～

一つ目の授業は化学だった。そのクラスでは、発展化学の問題を解いていたので理解に苦しんだ。2つ目の授業：日本語のクラス。その後、ランチを挟んで日本人留学生によるブレ

ゼンテーション。プレゼンテーションには 100 人以上の人が来てくれた。人が多い分緊張もしたが、生徒さん方はみんな優しくリアクションが良かったので楽しく終えることが出来た。どんな場面でもノリが良すぎて圧倒されすぎないように頑張っしてほしい。日本とは違うノリを楽しもう！学校終了 1 時 38 分。

～6 日目～

今日で最後の学校。やっと情が移った友達や今日知り合ったばかりの友達等、知り合いが出来た事で今日が最後の学校という現実から逃避したかった。

1 つ目の授業はハワイ語の授業だった。ハワイ語のスペルや読み方はローマ字と同じなのでとても勉強しやすかった。また発音も日本語と似ているので棒読みでも『とても上手い』と褒められた。2 つ目の授業はフラダンスの授業だった。見ている時は、動きもゆっくりで動作もあまりないので簡単そうに見えた。だが実際にやってみると、以前ヒップホップダンスを習っていた私でもかなり難しかった。またこの日初めてフラダンスには種類がある事を知った。フラダンスと言っても男女別で 2 種類の振りがあった。男性の振りは女性の振りに比べてかなりパワフルだった。3 つ目の授業：日本語のクラス。4 つ目の授業：化学。学校終了 2 時 15 分。

～7 日目～

朝 9 時の飛行機だったので、ホームステイ先の家の近くにあったドン・キホーテに連れて行ってほしいと頼み、最後の最後に追加のお土産購入。どこよりも安い上に買いたくなるようなものも多かった。ハワイのドン・キホーテは一度行ってみると良いと思う。

【全体を通して】

伝えたいことがありすぎて全部は到底書ききれなかったが少しでもイメージがいたら嬉しい。1 週間という短い時間の中で何をどれだけするかは自分次第。ここには、実際にプログラムに組み込まれている事のみを書いたが、放課後の時間は有効活用すべきだ。私の場合、自分からバディーの子達や知り合った子達に声をかけて積極的に一緒に遊ぶ機会を設けた。そのおかげで放課後に 3 回もみんな遊びに行くことが出来た。後悔の残らない状態で帰国したいのなら「これでもか！」というくらい積極的に行動する他ない。

## ハワイ留学 研修報告書

北海道札幌国際情報高等学校 1年

もともと国際情報高校に入学したからには、一度は留学をしてみたいと思っていました。そんな中、この留学事業の話聞き、説明会聞きに行きました。留学費用がとても安く、期間も一週間なので他の留学事業よりも参加しやすい理由などから両親と相談してせっかくのチャンスなので挑戦することにしました。

留学事業に参加するためには、書類を書いて提出して、校内面接をする必要がありました。締め切りぎりぎりだったことだったので、次の日までに提出しなければいけなくて、テスト期間とも重なっていたので、とても忙しかったですがなんとか乗り越えて受けました。



ハワイではワイパフ高校という高校に通いました。学校では実際に授業を受けたのですが、日本の学校とは全く違って驚くことばかりでした。例えば、生徒たちは授業中にも携帯を使え、時間に厳しくなく、授業の途中で席を外すことができ、日本とは違いとても自由でした。生徒と先生の距離も近くて新鮮でした。何より一番驚いたのは、生徒たちの全員が楽しく授業を受けていたことです。勉強させられているのではなく、自ら学んでいるところに魅力を感じました。学校の教室などが日本の学校の教室とは全く違い、教室の中の雰囲気開放的で気楽に授業を受ける事が出来ました。生徒たちに学校が好きか聞いたらみんな好きと答えていました。それを聞いて私はハワイの生徒たちのようにもっと日本での学校生活を充実した楽しいものにしていきたいと思いました。

他に驚いたことは、ハワイの高校は日本より進んだことをしているということです。例えば、ワイパフ高校の工業の授業では、すでに実際の車を作っていました。もしかしたらハワイは大学に進学する人が少ないから高校で色々なことができるのかな？など様々なことを考えさせられました。

ワイパフ高校では baking class や Drawing class, Japanese class, English class, Physics class, History class, Hawaiian class, Hula class など本格的な授業を実際に受けました。すべて英語なので難しかったですが、どれも貴重な経験で気楽に受ける事が出来てほんとに楽しかったです。Japanese class では日本語教師がどうやって教えているのかなどを学ぶことができました。Hula class では本場のフラダンスを見ることができまし

た。今まで想像していたものとは全く違いとて繊細で美しく、素晴らしいものでした。

ハワイに着いて初日は一日フリーだったのでホストファミリーが通っている教会にいったお告げを聞きました。その後家に着いた後、子供とバスケットをしました。私のホストファミリーは全員で6人いました。理由はよくわかりませんが、母と父は別居していて曜日ごとに子供たちの住む家が違ってとても不思議でした。一番下の子供に日本からのお土産(けん玉、コマ、折り紙)をプレゼントしました。気に入ってもらえて常に持ち運んで遊んでくれていました。キリスト教徒だったため、食事の前には何かお祈りの言葉を言って最後にアーメンといってお飯を食べました。日本のいただきますに似ていると思いました。家の中では、靴を脱いで生活していて驚きました。

ホストマザーにこれまでに他の留学生を受け入れたことがあるのかを尋ねたところ、「あるけど、あなたの英語はとても素晴らしいわ。ふつうはこんなにはなせないよ。」と言われました。それを聞いてとてもうれしかったし、自信にもつながりました。

休みの日には前々から行きたいと伝えていた海に連れて行ってくれました。そこできれいな写真をバックにいい感じに写真を撮ってもらいました。お土産屋さんにもよってもらってたくさん買うことができました。夜は、ホストファミリーの人たちとスパイダーマンの映画を字幕なしに観ました。なんとなく理解することができました。

ホスト生徒と初めて対面したときは、緊張してぎこちなかったですが、最後にはとても仲良くなりました。帰国後も連絡を取って一緒にゲームをしました。今回の留学で一番の思い出は、ホスト生徒たちや授業で知り合った人たちと全員でショッピングモールに行ったりして遊んだことです。このまま一生続いてほしいと思えるくらい楽しくて最高の思い出になりました。日本語で話しかけてから英語で話すようにすると話しかけやすいことをホスト生徒との交流を通して学ぶことができました。

私は今回の留学を通して、進路実現のためには今の自分には何が足りなくて、何をしなければいけないのか。など自分の将来について深く考えることができました。

帰国後の英語の授業で、自分の伝えたいことをはっきりと言うことができるようになりました。また、もっと外国人と話したいと思うようになり、自分から話しかけるようになりました。英語の発音などの技術的なことだけでなく自ら交流しようとする気持ち、コミュニケーション能力も鍛えられたことに気づきました。勉強に対する意識も変わって、計画的かつ、自主的に勉強するようになりました。



## ハワイでの一週間

北海道登別明日中等教育学校 1年

### 【参加した理由】

この学校に入学するまでは絶対に日本から出たくないと思っていましたが、先輩の報告会や同学年の人が海外に行くプログラムに参加している様子を見て、私も修学旅行でアメリカとカナダに行く前に海外に行って国際交流をしたいと思うようになったのがきっかけで応募しました。

### 【ワイパフ高校で】

ワイパフ高校に着くと最初にホスト生徒の Jamilynn から本物の花でできたレイという首飾りをもらいました。Jamilynn とはハワイに行く一週間前にラインをしていたので現地でも楽しく会話をする事ができました。



ワイパフ高校の生徒は皆フレンドリーで、すれ違った時に挨拶をしてくれたり、日本語を話してくれたりする人が多くいました。特に日本語クラスの生徒は日本のことが本当に好きで、私たちにたくさん質問してくれました。私の英語が伝わらなかった時にも、一生懸命に理解しようとしてくれました。その時にもっと私が英語を話すことができたらと思いました。しかし、たくさんの友達を作ることができたので良かったです。

ハワイの高校は日本の高校と違うところが多くて驚きました。授業に遅れてくる生徒や、授業中にスマートフォンをいじっている生徒がいました。しかし、生徒は先生に怒られていませんでした。また、ファッションや医療など日本にない授業がありました。私はホスト生徒がファッションの授業を取っていたので、その授業を受けました。授業ではファッションショーの練習を見学することができました。みんなモデルみたいにかっこよかったです。ファッションショーの衣装は自分で作るみたいです。私はワイパフ高校の紹介動画を見たときに、ファッションの授業を受けてみたいと思っていたので、受けることができて良かったです。授業の終わりには、ハワイの高校に行ってファッションの勉強をもっとしたいと思いました。

ワイパフ高校の生徒と一緒にワイケレとパールリッジショッピングセンターに遊びに行きました。ロールアイスやマラサダを食べたり、卓球をしたり、みんなで大きなジェンガをしたりととても楽しい時間を過ごしました。ハワイに行くまでは海外の人と遊びに行く日

が来るなんて夢にも思っていなかったなので、良い思い出になりました。

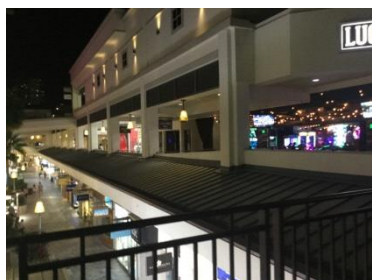


### 【ホームステイ】

ホストファミリーはフォスターファミリーだったので、子供がたくさんいました。ですので、にぎやかで楽しい雰囲気の家でした。ホストファザーはたくさんの方に連れて行ってくれ、車の中でハワイについてたくさん教えてくれました。ホストマザーは料理が上手で、毎日おいしいご飯を食べさせてくれました。子供たちは私たちと一緒に遊んでくれたり、お店の中を案内してくれたりしました。日本に帰る前日にはメッセージを書いた折り紙をプレゼントしてくれました。

ワイキキビーチやアラモアナショッピングセンターなど本当にたくさんの方に行っただのですが、中でも一番思い出に残っているのは家族全員で行ったポリネシア・カルチャー・センターに行ったことです。ナイトショーで火を回すパフォーマンスを見たときは感動しました。

日本に帰る日にポリネシア・カルチャー・センターで撮った集合写真とレイをもらいました。その時に本当に日本に帰ってしまうのかという実感がわいてきたのでうれしかったのですが少し寂しくもなりました。



## 【ハワイに行って】

私は一週間では英語力もあまり向上しないと思っていたのですが、実際にコミュニケーションをとってみて、新たに知った英単語や表現がたくさんありました。また、日本に戻ってからハワイの人と連絡をとりあっていて、Annalynの「日本語の代わりにスペイン語を勉強する予定だったけど、考えが変わったよ。もっと日本語を上手に話せるようになりたい。一緒に頑張りましょう！」というメッセージを見て、私ももっと英語を勉強して、英語でスムーズにコミュニケーションをとれるようになりたいと改めて思いました。

絶対に海外に行きたくないと思っていた私ですが、ハワイに行ってからもっといろいろなところに行って国際交流をしたいと思うようになりました。私は大学で法学を学んで弁護士になろうと思っていたのですが、英語を使う職業もいいなと思い始めました。今、英語を使う職業は何かあるか調べています。これはこのプログラムに参加しなかったら絶対になかったことです。

また、一緒にハワイに行った3人からも大きな刺激を受けました。3人は、キャビンアテンダントになりたい人、日本語教師になりたい人、医師になるためにヨーロッパに留学したい人とみんなそれぞれはっきりと将来の夢を決めていました。何も決まっていない私は、夢に向かって努力している話をしている様子がキラキラしているように見えてうらやましかったです。私もみんなのように本当になりたいものがあるときめきを持った人になりたいです。ハワイで英語だけでなく、自分の将来についても学ぶことが多かったです。何十年後かにもう一度3人とホスト生徒の人たちと再会してみんながどのようになっているかを知りたいです。その時には私もみんなに負けにくいほどの輝きをもっている人でありたいです。ハワイで過ごした1週間は私の人生を変えたといっても過言でないほどたくさんのことを学び、そして大きなものを得ることができました。ハワイに行くにあたってお世話になった全ての人たちに感謝したいです。



## ハワイレポート

北海道旭川永嶺高等学校 2年



私はこの留学事業を通して北海道とハワイの文化や生活の違いや自分の英語力を知るため、自分の夢を叶えるために今回参加しました。

実際にハワイに行き、気温と湿度が北海道の3月よりはるかに高かったけれど、自分が想像していたより高く感じなかったことに驚きました。北海道の猛暑日よりは快適に過ごすことができました。室内はクーラーがとても効いていて外とは違い肌寒かったです。

私のホストファミリーは11人の大家族で、はじめに家に着いたときはこんなに大勢の人が同じ家に住んでいて驚きました。日本の生活ではなかなか体験出来ない貴重な経験が出来ました。また、たくさん的人数がいる分、いろんな年齢、性別、性格の人とコミュニケーションをとることができてとても楽しかったです。みんな優しく、明るくて、とてもいい人たちでした。現地の人がよく行くスーパーや観光客向けのお店などに連れて行ってくれました。なかでも、Walmartというお店は、私のお気に入りになりました。24時間営業のコストコのようなお店で、いろいろなものが比較的安い値段で売っていました。ホストファミリーにWalmartが気に入ったというと、ノリよく“it's my favorite!!”と返してくれました。また、英語で楽しく長く会話できたのが初めてだったので、とても楽しかったです。



別の日にはホストファミリー全員で Polynesian Cultural Center (PCC)に行きました。そこでは、フラダンスやタヒチアンダンス、カヌー体験、サモア村という場所でのトーク&ミュージックショーなど、ハワイの素敵な自然のなかでいろいろな文化を体験できました。とても広くて、一日では全部をゆっくり見るには足りなかったです。また行きたいと思いました。



また、そこにはたくさんの観光客が訪れていて、現地の外国語スタッフがたくさんいました。日本人のスタッフもいて、このような仕事もあるのだと初めて知りました。面白かったです。



話すときと同じようにありのままの自分の個性をだしながら、英語で意思疎通を図れたことに自分で驚きました。言いたいことを諦めずに頑張って言おうとしていることが伝わると、相手も頑張って私が言いたいことを理解しようとしてくれて、とてもうれしかったです。誰かとコミュニケーションをとるときに大事なことは、伝えたいという気持ちを持つことが大切だと改めて思いました。現地の人みんな優しく、話せないといわれるどころか「自分たちが日本語で会話をしようと思っても、あなたのように英語で上手に話すことは無理だと思う。母語じゃないのにそんなに話せてうらやましい、本当に尊敬する。」とってもらえることができました。心から嬉しかったです。

ハワイの人たちとの交流を通して、今まで気づかなかった日本や北海道の魅力を知り、日本のことや北海道のことがもっと好きになったし、ハワイにももっと興味が湧きました。また、現地の人との交流を通して、まだまだ自分の知っている英語だけでは現地の人のように会話ができないこと、ホスト家族が大家族だったこともあり、集団生活の大変さも知ることができました。自分の知らない日本のことも沢山あったので、これからは英語学習だけでなく、日本についての勉強も頑張りたいと思いました。また機会があればハワイに行きたいです。この事業に参加して、本当にたくさんのことを学び、感じ、知ることができました。参加してとてもよかったです。ありがとうございました。

## 2 引率教員編

# 平成30年度北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業に係る報告書

北海道登別明日中等教育学校 教諭

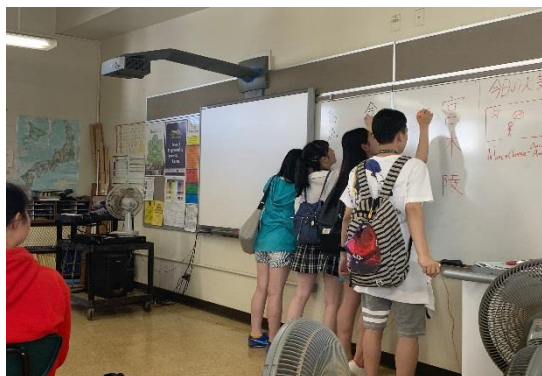
## 1 事業参加による生徒の成長について

事業参加により、様々な生徒の能力が成長したと感ずることができました。事業参加応募の時から訪問先であるワイパフ高校について調べている生徒がいました。英語で書かれているホームページを実際に読み、興味のあることや聞いてみたいことを応募書類に書いていました。日本にいる時に自分で情報を収集し、実際に調べたことを現地の人に英語を用いて聞き、さらに気になったことを調べることを通して生徒の視野が広がり、英語を通して情報を得る能力が成長していました。また、日本や北海道の良さをどのようにハワイの生徒に伝えるか苦勞している生徒もいました。実際にハワイの生徒とコミュニケーションを取り、日本や北海道のどのようなことに興味を持っているか、自分たちはどのようなことに焦点を置き、日本や北海道の良さを伝えることができるのかを今回の留学を通して生徒たちは知ることができたと思います。

## 2 引率者として参加する中で学びや発見について

引率者として本事業に参加し、海外の人たちがどのようにして日本語を学んでいるか知ることができました。ワイパフ高校で日本語の授業を何度も見学し、日本語を教えている先生は、実際に先生が日本語で話し、生徒が話したことを何度も繰り返す、語彙や会話表現等を練習させていることがわかりました。ひらがなや漢字等の練習をしている時もありましたが、基本的な授業形態としては、1回の授業で覚えさせたい語彙や会話表現等を決め、実際に教員が使い、生徒が練習をして習得しているものでした。このような授業形態から、ワイパフ高校の生徒たちが流暢に日本語を話すことができていると感じました。

北海道の生徒が、日本語で自己紹介をしてもきちんと聞き取ることができ、ワイパフ高校の生徒たちは興味を持って人の話を聞き、反応していました。日本人は、人の話を聞くときは頷きながら静かに聞くような傾向があると思います。人の話を聞き、実際に反応することでコミュニケーション能力も向上すると思いました。また、ワイパフ高校の生徒も授業内で



北海道の生徒に日本語で自己紹介をしていました。日本語を教えている先生も毎回お題を与え、生徒たちも飽きることなくコミュニケーションをとり続けていました。

ワイパフ高校の生徒たちは、アニメ等を見ることを通じて日本語の能力を向上させてもいました。実際に日本語を通じて様々な活動を行うことで、外国語を用いてコミュニケー



ションをする力も向上していくと実感しました。

### 3 ハワイ州との交換留学の課題について

北海道の生徒をハワイ州に派遣し、様々な課題や改善点を自分なりに見つけることができました。今回は北海道の生徒4名をハワイ州の1つの高校に派遣した。北海道の生徒たちは出発日に初めて出会った関係でしたが、北海道の生徒たちで話してしまう時間が少し目立っていたかもしれません。わからないことなどを積極的にハワイ州の生徒に聞くことができれば、もう少し生徒の英語力も向上するのではないかと感じました。しかし北海道の生徒4名の中でしっかりグループ意識もでき、お互いに協力する場面も見ることができ、同じ高校に複数名派遣することは、メリットもあればデメリットもあると感じました。

また、ワイパフ高校での授業についても担当の先生が行っている日本語の授業が多くなってしまっていました。日本語の授業で生徒が学ぶことはたくさんありますが、北海道の生徒が受けてみたい授業等をより多く受けることができればいいなと思います。

放課後の過ごし方についてもワイパフ高校の生徒たちは、とても親切に北海道の生徒と過ごしてくれました。生徒たちで予定を決めるのもいいですが、ホストファミリーといふことも大切な経験であると思いますので、決まっているスケジュールはなるべく変更しない方がいいかもしれません。

### 4 最後に

1月の視察の段階から、実際の生徒派遣の引率までこの事業に関わることができました。初年度であり、多くの人たちの協力によって、この短い期間で生徒派遣まで行うことができました。受け入れ先であったワイパフ高校の先生方や生徒たちはとても親切であり、積極的に北海道の生徒たちと関わってくれていました。実際に北海道にハワイ州の生徒を受け入れる際には同じような気持ちで受け入れ、北海道で様々な経験をしてもらいたいと思います。

これからもこの事業が長く続き、ハワイ州と北海道の友好を深め、お互いの生徒たちがいい経験ができるようになればいいと思っています。

## 平成 30 年度北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業

## —アンケート結果から見える事業効果—

## ○ 参加生徒へのアンケート (4名中)

質問項目	はい	いいえ	割合
英語力の向上を実感できた	4名	0名	100%
<英語力向上を実感した場面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•より実用的な英単語を利用できるようになった</li> <li>•帰国後の英語の授業で、他の生徒の発音の誤りなどが分かるようになったり、自分の言いたいことを前より伝えることができた</li> <li>•英語で何と言えればいいのかわからなく、何回も言い換えをした後に理解してもらって「ああ！このことね！」と正しい言い方を聞いたとき</li> <li>•言いたいことを、考えずにさらっと英語で言えたときや、英語で上手に言葉のキャッチボールできたとき</li> </ul>		
国際社会への関心が高まった	4名	0名	100%
<具体的に>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ハワイでたくさんの人と友達になり、もっと様々な国の人と交流したいと思った</li> <li>•実際に知らないことがたくさんあるんだと知ったので、自分の国はもちろん、国際的な問題や様々なことを知りたいと思った</li> </ul>		
機会があれば、また留学したい	4名	0名	100%
<理由>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ハワイ以外にも、海外へ留学したいと思う</li> <li>•海外留学をすることによって、自分の人間としての弱点や強みを知ることができたとし、母語が違う人達とコミュニケーションをとることにより、自分のコミュニケーションスキルも上がったと感じた。また、日本とは違う文化に触れることができるととても良い経験となったため</li> </ul>		
経験をどのように活かして行きたいか (複数回答)	•今後の職業選択や進路選択に活かしたい		3名
	•国際交流事業の運営にボランティアとして参加したい		3名
	•何かの機会に今回の体験を発表してみたい		2名